

アライプロバンス（東京都墨田区、新井嘉喜雄社長）は、千葉県浦安市で計画す



浦安市港物流センターの完成イメージ

るマルチテナント型物流施設「（仮称）浦安市港物流センター」の建設工事に7日着手し、現地で地鎮祭を開いた。4月に社名変更し

アライプロバンス

西松建設で起工

浦安市港物流センター



鍬を入れる新井社長



鍬を入れる高瀬社長

末の竣工を目指す。

地鎮祭の神事で新井社長

が鍬、西松建設の高瀬伸利

社長は鍬を力強く入れ、施

設の無事完成を祈願した。

神事後取材に応じた新井社

長は「不動産業の最初の事

業。全精力を込めて成功さ

せる」と述べた。

建設地は自社工場跡地の

港69（敷地面積1万487

8平方メートル）。首都高速湾岸

線浦安ICから約3キロに位

置する。建物規模はS造4

階建て延べ3万4567平

方メートル。最大四つのテナント

が入居できる。建築環境総

合性能評価システム（C A

S B E E）のAランク取得を予定している。

アライプロバンスは新井

鉄工所として1903年に

創業。石油や天然ガスの掘

削機器の製造を手掛けてき

た。2016年に製造事業

から撤退。所有する工場用

地などを生かした不動産事

業にかじを切った。

高橋優所長（西松建設関

東建築支社）の話



「無事故無

災害が一番

だ。現場を一

つのチームに

まとめ上げ品質の高い施設

を造りたい」。

